

京都市立醍醐中学校 部活動運営方針

1. 部活動のねらい

生徒が自分の興味や関心に応じて自主的、自発的に活動する中で、個性を伸長し、社会性や人間性を育み、顧問や生徒相互の人間関係を育てる等、生徒の心身の健全な育成と責任ある個人としてふさわしい資質を育てることをねらいとする。

2. 位置付け

学校教育活動として教育課程外で行われるものであり、生徒会活動の一部に位置付ける。

3. 部の成立

下記のすべてを満たすこととし、準備委員会で検討のうえ職員会議で協議し、校長が決定する。

- ① 活動に必要な部員がいること。
- ② 顧問がいること。
- ③ 校内に活動場所を確保できること。

4. 部員

入部は自由意志により、1人1部とする。3年間続けることを原則とし、入退部は担任・顧問の許可並びに保護者の同意を必要とする。

5. 運営規定

① 活動期間

4月1日から翌年3月31日とする。

② 活動時間

平日2時間程度、学校の休業日（土曜日、日曜日、祝日、長期休業期間等）は3時間程度を原則とする。

③ 完全下校

ア. 16:45 完全下校とする。（時間厳守）

イ. 完全下校15分前には活動を終え、片付けを行う。

④ 休養日

ア. 平日は木曜日、及び土曜日または日曜日に1日以上 of 休業日を設ける。

イ. 大会等により、土曜日または日曜日の休養日に活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。

⑤ 活動休止

下記の期間は、原則として活動を休止する。その他、学校行事（入学式、校外学習、学校祭、体育の部、文化の部、合唱の部、卒業式）、学校体制、気象条件等により、活動を休止する場合がある。

ア. 定期考査の1週間前から試験終了までの期間（ただし、大会前のテスト週間はその限りでない）。

イ. 8月中旬及び年末年始の学校閉鎖期間。

⑥ 部費

部活動運営に必要な経費として部員から部費を徴収する場合は、1ヶ月500円までを上限とし、必ず年度ごとに保護者に対して合計報告を行う。